

MNOZIL BRASS CIRQUE



FOTO: DANIELA MATEJSCEK
GRAFIKDESIGN: GREGOR WIEBE

ムバツイル・ブラス 岡山公演 ~サーカス~

2017

11/23 (木・祝)

14:00開演 (13:30開場)

岡山シンフォニーホール大ホール

料金【全席指定】4,000円

※「友の会」会員は10%割引。

※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。

※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。

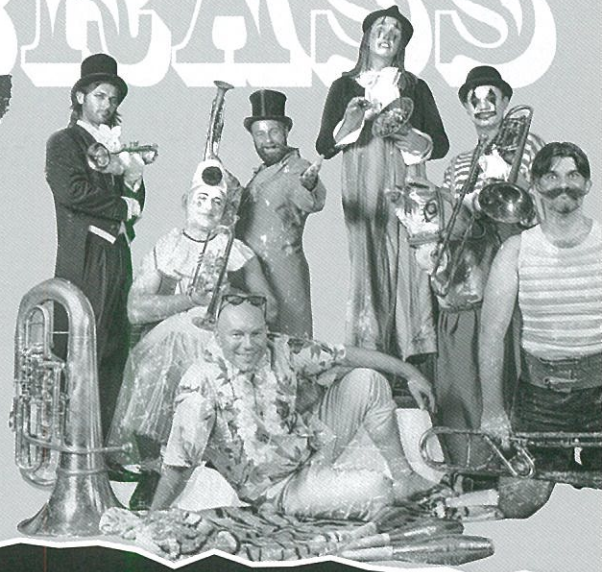
主催：(公財)岡山シンフォニーホール 共催：岡山市 / TSCテレビせとうち

抱腹絶倒のステージ! まさにブラス芸術の極み!

ムノツィル・ブラス プロフィール

ウィーンに音楽を学びに来たメンバー7人により結成。「ムノツィル」とは、19世紀にウィーンへ移り住んだモラヴィア人の姓で、ムノツィル家の子孫が1932年ウィーンに一軒の居酒屋「ムノツィル・イン」を開いたのがそもその始まり。メンバーが毎晩水分補給にこのムノツィル・インに通っていたことからこの名がつけられた。抱腹絶倒のパフォーマンスをしながらも、ぶれる事の無い凄まじいテクニックは世界各国の聴衆を魅了している。

<http://www.mnozilbrass.at/>



トーマス・ガンシュ(トランペット)

THOMAS GANSCH

ムノツィル・ブラス創立メンバーのひとり。1993年の創立時、トーマスはたったの17歳でありながらその実力はウィーン国立歌劇場管弦楽団で演奏するほどの確かなもの。ところがトーマスはやがてジャズへのめり込み、今ではオーストリア随一の万能トランペッターとなる。ジャズ、クラシック、そしてその間にあるすべての音楽...この男はトランペットで何でも吹きこなす。ステージ上では動きはなし、ムノツィル・ブラスのショーのカギ、完璧なタイミングのコメディアンでもある。ムノツィル・ブラスのための作曲も多く、また自らのプロジェクトも手がけ、その活動は多岐にわたる。



ゲアハルト・フュッスル(トロンボーン)

GERHARD FÜSSL

ローマン・リンドベルガー家とほとんど隣で生まれ育つ。おかげで、幼少の頃から父親と共にブラス音楽に大いに親しんで育つ。メンバー内では一番の人気者。なぜかといえば、彼がグループの会計係。彼からギャラを渡してもらえからね。そう、ゲアハルトは最も人徳が高い素晴らしい高貴な人物、彼のいうことは絶対、間違いない。みんなが彼を敬い、丁寧に接し、彼も我々にとっても親切(ほとんどの場合にね)



ロベルト・ローター(トランペット)

ROBERT ROTHER

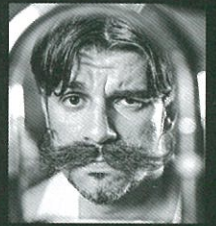
ドナウ川沿い、トーマスと同じメルクの生まれ。どおりでふたりとも幼い頃からポルカ、ワルツ、マーチに精通しているわけだ。このオーストリアの伝統音楽を熱く厳しくふたりに授けたのは著名な指揮者だったトーマスの父親。ムノツィル・ブラス初期の頃からレパートリーの要である。ロベルトのお得意は、泣きのメロディー。彼が吹いている姿を想像するだけで誰もが涙ぐむほど感動的だ。あり得ないほどの美しさと、あり得ないほどのビブラートは、ロベルトのみがなせる技。トーマスとは相反し、ステージ上ではほとんど動かない。代わりに穏やかな落ち着いた音をステージにもたらす。



ゾルタン・キス(トロンボーン)

ZOLTAN KISS

ひとつだけ確かなことは、ゾルタンはオーストリアの伝統音楽にはまったく馴染みなく育ったこと。なぜなら彼はハンガリー、ブダペスト生まれだから。ポーランドへの道すがら、ゾルタンはウィーンに立寄り、我々に出会う。以来、クワドリಂಗ(四カ国語で吹く)トロンボーン奏者として大活躍。メンバーのなかで流行っているゲームは、これでもか、という難しい楽譜をゾルタンに渡して、彼が吹けるかどうか試してみる。しかしゾルタンはいつでも必ず吹いてしまうんだ。しかもものすごく上手に彼のテクニックには我々さえもたびたび呆然とさせられる。ゾルタンが吹けない楽譜を誰がいつ作曲できるか、われわれは(うちの)賭けをしてるんだ。



ローマン・リンドベルガー(トランペット)

ROMAN RINDBERGER

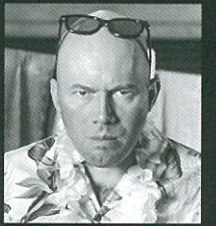
ローマンもまた、音楽一家の生まれ。早くから父親と二人の兄弟と共にオーストリア伝統の音楽を奏で、親しんできた。そんな民族音楽のイベントで、この家族はたびたびゲアハルトの家族と出くわすことになる。というのも、ゲアハルトが住んでいたのはごく近所の村だったから。技巧的なパッセージを愛してやまないローマン。スイス製の時計のように極めて正確に精巧にこれらを処理する。しかもこれらのパッセージを論理的に解明する理論派でもある。だから、ブラス音楽についての知識を得たいと思う者がいたら、迷うことなくローマンに尋ねよう。ステージ上でのローマンは、恋するラテン音楽担当。



ヴィルフリート・ブランドシュテッター(チューバ)

WILFRIED BRANDSTOTTER

ヴィルフリートの華麗なる音楽歴はリコーダーから始まった。やがて少年合唱団に加わり、更にはヴァイオリン、トランペットへの変遷を経て、ついにチューバを手にしてから心の平安を手に入れることとなる。スピードが早い、遅いなどということはヴィルフリートには関係ない。彼にとっての人生は、ゆったり流れる大河のごとく。ゆえに、彼が求めるのは、コンサートホールを満たすすべての人が、彼のチューバが醸し出す、低く心地よい振動をただ味わってくれること。ヴィルフリートにとっては、どうして多くの人がめまぐるしい高い音域のメロディに熱中するかなんて到底分からないことなのである。



レオンハルト・パウル(トロンボーン)

LEONHARD PAUL

ウィーン近郊メドリング出身。ほかのメンバーと違い、家族の中で唯一初めての音楽家となる。ただし叔父は画家で、ウィーンの立派な家には必ず彼の絵が飾ってあるほどの著名な存在。最近、我々はレオンハルトのことが少し心配だ。なぜなら、彼は陰のある役にのめり込む傾向がだんだん強くなっているから。ほかのメンバーはカッコいいヒーロー役を争って演じたが、レオンハルトだけはそんな争いには加わらない、進んで悪役を買って出るんだ。彼、大丈夫かな?



© Daniela Matejschek

プレイガイド

【岡山】岡山シンフォニーホールチケットセンター
岡山県音楽文化協会
ぎんざや
天満屋バスステーションチケットセンター
山陽新聞社サービスセンター
イオンモール岡山チケットセンター【土・日・祝のみ】
【倉敷】インディスク

☎086-234-2010
☎086-224-6066
☎086-222-3244
☎086-231-7679
☎086-803-8222
☎086-941-8818
☎086-422-1457

【その他】チケットぴあ(Pコード:322-493) ☎0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード:62687) ☎0570-084-006

【Web】岡山シンフォニーホールチケットWEB予約
(下記URLもしくは右記QRコード)

<https://www.okayama-symphonyhall.or.jp/ticket-re/>
チケット探(公文協 公演情報&TICKETS) <http://ticketan.net/>

